

3. タキソノミーテーブル作成(6月30日〆切)

タキソノミーテーブル (教育目標の分類体系: タキソノミー)

科目名 臨床栄養学各論 I (2024 年 7 月 6 日作成)

氏名 藤田 昌子

No.1

内容 (〇〇する 力がある) 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	(再認、再生)	解釈、例示、分類、推 論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1.肥満症の定義と分類		・肥満の分類を説明できる。 ・肥満と肥満症の違いを理解する。	BMI を算出する。	肥満度を判定する。	課題で C 以上を取る	
2.肥満症の病態		・肥満に伴う健康障害を説明できる。			課題で C 以上を取る	
3.肥満症の治療		・肥満症の治療目標と正しい減量目的を説明できる。 ・減量のための運動療法を説明できる。 ・メタボリックシンドロームの治療意義とアディポサイトカインを説明できる。			課題で C 以上を取る	

4.肥満症の食事療法		<ul style="list-style-type: none"> ・体脂肪 1kg を減らすためのエネルギー出納を説明できる。 ・肥満症の食事基準及び食事療法の注意点を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体脂肪 1kg を減らすためのエネルギー出納を算出する。 		課題で C 以上を取る	
5.糖尿病の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・インスリンの働きから高血糖になるメカニズムを説明できる。 			課題で C 以上を取る	
6.糖尿病の分類および合併症		<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の分類ができる。 ・1 型糖尿病と 2 型糖尿病の違いを説明できる。 ・糖尿病の合併症を説明できる。 			課題で C 以上を取る	
7.糖尿病の検査		<ul style="list-style-type: none"> ・診断に用いられる以下の検査と評価を説明できる。 <li style="padding-left: 20px;">・ 随時血糖値 <li style="padding-left: 20px;">・ HbA1c <li style="padding-left: 20px;">・ C ペプチド <li style="padding-left: 20px;">・ ブドウ糖負荷試験 			課題で C 以上を取る	
8.糖尿病治療の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病治療の短期目標、中期目標、長期目標を説明できる。 			課題で C 以上を取る	

		・糖尿病の運動療法を説明できる。				
9.糖尿病の薬物療法①		・主な経口糖尿病薬とその機序を説明できる。			課題でC以上を取る	
10.糖尿病の薬物療法②		・糖尿病注射薬の適応と分類、低血糖発作発症時の対応を説明できる。			課題でC以上を取る	
11.糖尿病の食事療法①		・糖尿病食事療法の目的、食事基準を説明できる。 ・制限が必要な栄養素とその必要性を説明できる。			課題でC以上を取る	
12.糖尿病の食事療法②		・糖尿病治療とビタミン摂取の関係を説明できる。 ・血糖上昇に配慮した食品を選択できる。 ・糖尿病食事療法のための食品交換表の目的を説明できる。			課題でC以上を取る	
13.糖尿病の食事療法③		・糖尿病食事療法のための食品交換表の使い方を説明できる。 ・必要栄養量から食料構成を作成できる。	自身の必要栄養量を算出する。		課題でC以上を取る	自身の必要栄養量から糖尿病食事療法のための食品交換表を用いて食料構成を作成する。

14.糖尿病の食事療法④		<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病食事療法のための食品交換表の使い方を説明できる。 	糖尿病食事療法のための食品交換表を活用する。		課題でC以上を取る	糖尿病食事療法のための食品交換表を用いて、前項で求めた必要栄養量を基に常食から展開する。
15.糖尿病の食事療法⑤		<ul style="list-style-type: none"> ・症例から課題を抽出し、必要栄養量の提案をし、注意すべき栄養素を説明し、食品を例に挙げて指導計画を立案できる。 ・人工甘味料の種類ごとに、特性（用い方の注意点）を説明できる。 	症例演習をする。	演習症例の課題を抽出し、注意すべき点を挙げる。	課題でC以上を取る	演習症例の必要栄養量を算出し、指導計画を立案する。 人工甘味料を用いたメニューを立案する。